

令和4年度 東信地区学校図書館教育研究大会 [実施報告]

- 1 研究テーマ 「自ら学び、考えや思いを深められる学校図書館のあり方」
- 2 主催 長野県図書館協会
長野県図書館協会小中学校部会上小支部
- 3 期日 令和4年11月1日(火)
- 4 会場 上田市立本原小学校(公開授業) 上田市立真田中学校(公開授業)
- 5 公開授業・授業研究会

		本原小学校	真田中学校
(1)	受付	13:20~13:40	13:20~13:35
(2)	公開授業	13:45~14:30	13:40~14:30
(3)	授業研究会	14:50~15:30	14:40~15:30
(4)	まとめ	15:35~15:50	15:35~15:50

<本原小学校>

授業学級	教科名	単元名	授業者	指導者	司会者	研究会場
6年1組	特別活動	「1年生となかよくなるう~読み聞かせを通して~」	太田 咲 教諭	東信教育事務所 主任指導主事 久保 貴史 先生	剣持 康典 教頭	体育館

<真田中学校>

授業学級	教科名	単元名	授業者	指導者	司会者	研究会場
1年3組	社会科	「中世の日本」	翠川昂佑 講師	東信教育事務所 指導主事 山浦 光雄 先生	後藤 理 教頭	図書館

- 6 講演会 ※講師体調不良により急遽中止
講師 齋藤 直人 先生(上田女子短期大学総合文化学科専任講師)
演題 「GIGA スクール構想における探究学習のあり方」
- 7 参加者数 小学校 27名 中学校 16名 来賓・指導者・役員 9名 計 52名
- 8 参加者からの感想・意見・反省

(1) 公開授業

○授業については、両校の児童生徒の図書館利用の向上に資する授業を提案していただいた。参加者にとっても参考になる授業であった。

○4つのグループに分かれて、それぞれ工夫した読み聞かせが出来ていたと思います。ペープサート、音、かくれて読む等、子ども達が1年生の為に一生けん命考えたのが伝わってきました。音が鳴るたびに期待がふくらみ、次何の木がはえるのかワクワクしていた1年生。笑ったり、体を揺らして喜びを表現したりしていた1年生の姿から読み聞かせは大成功だったのではないでしょ

うか。目当てがしっかりしていて、誰の為に、どんな願いを持って、誰がやるのかがしっかり考えられていたことがとても良かったです。「もう1回読んで!!」1年生の一言が全てを語っているようでした。6年生が1年生に寄りそう姿が良かったです。有難うございました。

○教科担任と学校司書の連携が授業支援をするにあたり、大変重要であると感じた。インターネットを活用した授業がますます盛んになってくるが、図書を手に取り調べることのよさを先生方・児童生徒に伝えていきたい。

○スライドを製作するにあたり、個々の興味ある問題から本を選択し、読んでまとめて発表し合い、学びを深めていく一連の流れがはっきりしていて生徒たちも大変よく取り組んでいる姿があった。本時の途中でも選んできた本に立ち返り確認している姿、手で本を開き、もう一方の手でパソコンを打つ姿、本が近くにあり、自分のよりどころとなっている場面が見受けられてよかった。

(2) 運営面

○実行委員会の中で、早い段階からコロナの状況にかかわらず、参集で行うことを決めておいたので、会場校も含め推進しやすかった。

○講演会が急遽中止となってしまったが、会場校には日程変更等、細かい点まで配慮していただきありがたかった。

○授業研究会の持ち方については、会場校と相談の上で工夫をしていきたい。

○日程、予算などを考えると半日開催が妥当である。

9 決算報告

収入 50,000円 支出 50,000円

<収入>

科 目	予 算 額	内 訳
負 担 金	50,000	県図書館協会地区大会負担金
補 助 金	0	上小・東御図書館協会より
合 計	50,000	

<支出>

科 目	予 算 額	内 訳
研究費	40,000	本原小 20,000 真田中 20,000
会場校費	4,000	本原小 2,000 真田中 2,000
事務局費	6,000	通信(切手) 3024 リングファイル 2976
合 計	50,000	